

6月議会報告 大垣駅南北自由通路建設本格的に始まる 皆さんのアイデアをお寄せください。

大垣駅南北自由通路整備事業は概算事業費22億円で、そのうちJR東海への整備委託概算事業費が19億2000万円です。この6月議会で、平成19年度実施の詳細設計費として300万円の補正予算が組み入れ、債務負担行為（平成20～22年度）として19億1700万円が設定されました。その主な内容についてお知らせします。

市議会議員

笹田トヨ子

大垣駅南北自由通路整備委託概算事業費内訳（事業予定期間：平成18年度～22年度 単位：千円）

年度	南北自由通路（都市側施設）		支障移転（機能補償）ほか		計
	工種	事業費	工種	事業費	
H19	詳細設計	2,000	詳細設計	1,000	3,000
H20	詳細設計、自由通路基礎・躯体工事、ほか	290,000	詳細設計、電車線など移設工事	212,000	502,000
H21	自由通路内外装、昇降設備、照明工事 ほか	665,000	橋上駅舎増築部基礎・躯体工事、既設通路橋撤去工事	198,000	863,000
H22	待合コーナー内外装、工事用仮設復旧工事	143,000	橋上駅舎増築部内外装工事、空調換気	409,000	552,000
計		1,100,000		820,000	1,920,000

垣老の拡充を求める署名にご協力を！

「南北自由通路」工事費が11億円

自由通路整備工事は大垣市がJR東海に委託して行われます。左の表は、JR東海側から提示された概算事業費の内訳です。これを見ると、「南北自由通路」に関する工事費が11億円で、これは大垣市の財産になるものです。また、「支障移転ほか」としての8億2,000万円は既設通路橋撤去工事や電車線などの移設工事のほか、機能補償として駅舎増築費用が入っています。この中の約5億円は北口にあるJR所有の建物の移転補償費としてJRの駅舎増築費にあてるといっていますが、補償費としては高すぎるのではないのでしょうか。また、JRに委託した自由通路の工事費などが適正な費用かどうか検証するシステムがないことが問題です。（裏面 大垣駅北口広場ほか 計画平面図（案）参照）

今後の進行は

今後は、大垣市とJR東海が「大垣駅南北自由通路整備工事協定」の詳細協議を開始し、仮協定を締結する予定です。そして、当該契約の議会議決後、本協定を結ぶ事になります。

「南北自由通路」を市民の広場に

11億円巨費を投じられる南北自由通路を、子ども達のための展望デッキの設置とか、市民ギャラリーとしての活用等皆さんのアイデアをお寄せ下さい。中心市街地活性化特別委員会等に反映させていただきます。（笹田）

